



# 元気っ子

No.233 ながさわ保育園

平成 29 年 1 月号

園 長 市 川 温 予

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今日(1月4日)から第三保育期がスタートしました。子ども達は昨年の11月頃から、1月27日(金)に鈴鹿市文化会館である「おゆうぎ会」に向けて一生懸命に練習をしています。“一人ひとりがその子なりの力を発揮し、楽しく笑顔で参加してほしい、みんなで力を合わせて頑張っ、ながさわ保育園らしいおゆうぎ会にしたい”という私達大人の想いをこめ、先生達も頑張っています。

おゆうぎ会は、うさぎ組(2歳児)と3,4,5歳児が参加します。異年齢クラスは、3,4,5歳児が混ざって劇やダンスをします。一人ひとりが自分のやりたいものを自己決定しています。大人から強制的にやらされたのではなく、自分で選んで決めたものなので楽しそうに練習しています。特に大きい子は、自分より年下の子に気を使い、セリフをいう時は呼吸を合わせたり、ダンスをする時は一人ひとりの間隔を調整したりとフルに頭や神経を使っています。本当に子どもってすごいなと観ていて思います。

12月21日(水)に、とちのき組の劇をみせてもらいました。どの子も嬉しそうで、出番を待っている時も「早くダンスしたいなあ。ポーズもするんやに！」とにっこにこの笑顔で話してくれた子がいました。先生達もかなりのエネルギーを使い、場面場面でやり直したり、できたら具体的にほめたりと頑張っています。先生達が楽しんで踊ったり、演じたりすることが子ども達にとって一番のお手本です。平塚先生も谷口先生もとってもいい表情でした。それがとちのき組の子ども達にも伝わり、全体の流れにつながったのだと思いました。私は、劇が終わってから、思いっきり子ども達をほめました。そして何が一番良かったのかを伝えました。「何より笑顔、みんなのにこにこの顔が良かったよ。セリフも大きな声で言えてたね。すごい上手だったよ。」と話をすると、またまた子ども達も先生達も笑顔がいっぱいでした。こうしてほめられ体験を積み重ねると、自信につながっていき、さらに頑張る力になっていくのだと思います。

一年一年大きくなっていく子ども達。当たり前ですが、一年前に比べると本当に成長しています。昨年うさぎ組だった子が今年は大きな集団の中で年上の子と一緒にセリフを覚え、演じ、ダンスをする、本当に本当に子どもの持っている力は無限です。観ていると涙が出てきます。これから本番に向けて、さらに子ども同士の関係が深まり、いろんな年齢の幅の中で一人ひとりが自己発揮できるように見守っていきたいと思います。

昨年、12月からノロウイルスによる感染性胃腸炎が猛威をふるっています。また、インフルエンザやロタウイルスなど、冬季に流行する病気にも注意が必要です。外出後は手洗い、うがいをきちんとして、十分な睡眠をとり、しっかり食事をするのが大切です。体調が良くないときは、早めの受診、お家でゆっくりと身体を休めることをお勧めします。

今年も子ども達が、“元気に、楽しく、健康に”過ごせることを願っています。